

第2回大網白里市道の駅整備検討委員会 議事要旨

議 事 概 要	
名 称	第2回大網白里市道の駅整備検討委員会
年 月 日	令和6年3月11日(月) 13:30～14:55
場 所	保健文化センター 3階ホール
出 席 者	【委 員】 14名中11名出席(名簿順) 委員長 寺原 譲治 副委員長 加藤 文男 委 員 久我 一雄 委 員 山野辺 昌浩 委 員 内山 信男 委 員 内山 充弘 委 員 安川 覚 委 員 手塚 智仁 委 員 齋藤 壽彌 委 員 今井 健太 委 員 小西 一裕 【事務局】 副市長 堀江 和彦 企画政策課 課 長 飯高 謙一 副課長 久保 崇 班 長 齋藤 友康 副主査 鈴木 公治
欠 席 者	委 員 星野 八千代 委 員 市東 剛 委 員 加藤岡 美佐子
傍 聴 者	16名
議事等の概要	議 事 ①これまでの道の駅の検討及び現状について ②今後の進め方について ③スケジュールについて ④意見交換

発言者	発言内容
寺原委員長 事務局 寺原委員長 A 委員 事務局 A 委員 事務局	次第１ 開 会 ・事務局より会議成立の報告 次第２ 委員長あいさつ ・寺原委員長より挨拶 次第３ 議 事 議事① これまでの道の駅の検討及び状況について ・事務局より資料１を用いて説明 《質疑応答・意見》 前回の検討では、道の駅の年間利用者数は 10 万人がボトムラインという認識でよろしいか。 前回の計画では、年間利用者数が 10 万人では収支がマイナスとなり進めることは難しいのではないかと、という検討がされています。なお、条件に近い「海の駅九十九里」で年間約 23 万人の入込客数があり、同程度の利用が見込まれるのではないかとという考えでございます。 管理運営の方法として公設公営又は公設民営という選択肢も検討させていただきたい。 ①市の財政状況について、負債 143 億円は地方債による借り入れか。 ②143 億円の負債は、千葉県内では平均的な額なのか（どの市町村も同程度の負債を抱えているのか）。 ①市の負債は、全て地方債となります。 ②地方債の額が多いか少ないかの判断は、自治体の財政規模や、学校等の公共施設、道路等の社会基盤施設の保有状況等によって変わってくるため一概には言えませんが、財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための指標である実質公債比率は、国が定める基準を下回っております。 今後、地方債の返済が集中し、返済額が膨らむ年があるのか。 現在がその状況であり、経常収支比率が高くなっています。

B 委員	①ふるさと納税 8 億円のうち、市に残る額はいくらか ②市に残ったお金は減債基金に積み立てているのか、また別に積み立てているのか
事務局	①経費割合が約 5 割となり、約 4 億円が市に残る額となります。 ②ふるさと納税は、一般財源として寄附をいただいた当年度の事業費に充てており、直接基金には積み立てておりません。しかしながら、ふるさと納税の増収により、当初想定していたより収入が増えたことで収支が黒字となることから、結果的にその黒字分を財政調整基金や減債基金に積み立てることができております。
寺原委員長	ふるさと納税は、希望する使い道を指定して寄附ができる。市はその希望に応じて寄附金を使用するため、その分、市が想定していた歳入が少なくて済むという理解でよろしいか。
事務局	そのとおりです。なお、その年で使いきれず、決算で剰余金が出たものについては、繰越金として翌年度の財源になるほか、基金に積み立てております。
寺原委員長	前回の道の駅がうまくいかなかったのは、2 階建てにするとどうかという建物の意匠の問題と、用地買収費や施設整備費等の資本的な費用や管理運営費、また経常収支比率といったような市の財政的な負担が障害になったということによろしいか。
事務局	そのような状況です。
寺原委員長	今回は、建物はこれでなければいけない、というような施設の詳細の議論までいかないと思われる。前回の計画を参照しながら、全体的な構想をまとめていきたい。 議事② 今後の進め方（案）について ・事務局より資料 2 及び資料 3 を用いて説明 《質疑応答》 ・特になし 《採決》 ・総員賛成により承認

寺原委員長 C 委員 事務局 B 委員	議事③ スケジュールについて ・事務局より資料 4 を用いて説明 《質疑応答》 ・特になし 《採決》 ・総員賛成により承認 議事④ 意見交換 ・事務局より資料 5、資料 6 及び資料 7 を用いて説明 《質疑応答・意見》 資料 5 を見ると、中心的な命題として人口減少がどこの課題にも関係しており、ワークショップを開催した場合も同様の意見が多数出てくると思われる。その中で、全ての問題が解決できるものでないため、皆さんの意見を聞きながら、道の駅の機能について明らかにしていきたい。 なお、道の駅の機能として、基本的には外の人が立ち寄る施設と考えているが、市民のためにもどうしたら使い勝手がよくなるのかも検討させていただきたい。 計画を作ると同時に、市役所の内部に道の駅の運営のノウハウや経営のノウハウを蓄積し、問題を解決できる仕組みを作ることによって非常に効率よく物事が進むのではないかな。 今回の道の駅は、地元の活性化という観点から地元の人が立ち寄る施設とするのか、それとも外の人が立ち寄るような観光にウエイトを置いた施設とすべきなのか委員の皆様の意見をうかがいたいと思います。 前回の計画では津波対策等も考慮して 2 階建てとしたが、今回は簡素でありあまりお金を使わないようにする。また、市の予算も少ないことから、赤字にならない道の駅ができれば大変うれしい。 道の駅は観光を一つとしつつ、地元の人にも使っていただく。白里地区は高齢化率が高く、道の駅を作ることによって地元の人に楽しみを与えたい。加えてお土産が買えたりしたらありがたい。
---	---

D 委員	白里地区に住まない理由として、災害が怖いという意見を聞いており、豊かさを求める施設は不要ではないかと感じている。 その代わりに、避難施設や避難所、災害に強い施設を他の地区より充実させることで、安心して住むことができるようにする。その中で道の駅も安心できる避難施設とすれば、人口も増えて活性化につながるのではないか。
E 委員	リピーターとなる地元のお客様は、その人口に左右されてしまい限界がある。道の駅というものを考えた時、地元以外の人も呼び込めるような魅力的な内容を持った施設になってほしい。ただし、そのような中でも白里地区で買い物ができる施設となればなお良い
A 委員	市がより良くなるよう、収入増及び負債減という2つの観点を強く考えている。地元の人がお金を落とせる、落としたいと思える施設であるとともに、大網に来た観光客に対し、食や買い物のニーズに応えられる商品がある施設があれば良い。また、人口減少、高齢化に伴い増大する医療費や福祉費の軽減に資するよう、健康増進に寄与する施設にしたらどうかと考える。
F 委員	人口減少について考えた場合、駅までの交通網の悪さや白里に地元で働く場所の少ないことが課題であり、公共交通と働く場所が道の駅のテーマになると考える。
G 委員	白里海岸のハイシーズンとオフシーズンを柔軟に活用できるものができれば一番良いと思う。
H 委員	人口減少の前に、買い物が一番の問題である。その次に働く場や地場産品の開発もしなければならない。 施設については、お金もないことから、まずは既存施設の活用などによりコンパクトな道の駅としたらどうか。
I 委員	市の財政状況の改善を考えると、大変な時間がかかると思われる。具体案を作って実行するうえで、市役所に道の駅の専任職員を置き積極的な姿勢を見せないと、またどうなるのか、いつになるのかなと感じてしまう。

